

《カトリック大和高田教会 お知らせ》 2024年7月21日

典礼暦	日 時 など
年間第16主日	7月21日(日) 集会祭儀 10:30
聖マリア(マグダラ・祝)	7月22日(月) ミサ 8:00
聖ヤコブ使徒(祝)	7月25日(木) ミサ 10:30
	7月27日(土) ミサ 8:00
年間第17主日	7月28日(日) ミサ 10:30
	7月29日(月) ミサ 8:00
	8月1日(木) ミサ 10:30
	8月3日(土) ミサ 8:00

【中央協議会】

◎第4回祖父母と高齢者のための世界祈願日：7月28日(日)

教皇フランシスコが、今年と同祈願日のために選んだテーマは、「老いの日にも見放さないでください」(参照 詩編71,9)です。

日本では9月15日に敬老ミサが行われます。

【京都司教区】

◎第37回比叡山宗教サミット「世界平和の集い」日程：8月4日(日)

◎第17回戦争と平和写真展(入場無料)

日時：8月10日(土)14時～、11日(日)7時40分～

会場：河原町教会ヴィリオンホール

主催：京都教区カトリック正義と平和協議会

詳細は、ホール掲示板をご覧ください。

●第二バチカン公会議を学ぶ～シノドスの歩みのために～

【ZOOM：オンライン講座】&【対面分かち合い：人数制限有り】

期間：2024年7月～2025年4月、詳細は、ホール掲示板を
第1回は、7月12日(金)でした。講話の動画視聴が可能です。
教会LINEに参加の方には、LINEでお知らせしています。

【奈良ブロック】

◎御所教会の池掃除について

酷暑が続いています。暑さ対策のため7月27日(土)は中止です。
暑さが落ち着く9月末ごろに実施予定です。

●2024年クリスマス・チャペルコンサート合唱団の練習について

練習日：7月28日(日) 14時～、場所：大和八木教会

【大和高田教会】

◎「聖堂屋上の防水工事(教区承認済)」が7月29日(月)から始まる予定です。工事期間は10日前後。工事中は、関連車両が出入り、駐車(主に園庭を利用)しますので、ご注意ください。

土日はお休みの予定です。

●地区集会のお知らせ

・本日(7月21日)、集会祭儀前(9時～)に開催されました。

●国際協力委員より

本日(7月21日)集会祭儀後に、
神戸マリナーズセンターへ送る帽子を一緒に編みましょう。
小聖堂で行います。みなさま、ご参加下さい。

●Sr.ローマの聖書の分かち合い(次週の主日の聖書朗読)

7月25日(木)ミサ後《毎週木曜日のミサ後の予定》

■教会掃除当番

7月27日(土)9:00～ : C地区

8月4日(日)ミサ後 : 奉仕日、全員参加

本日の聖歌 本日は集会祭儀のため唱えます

入祭		奉納	
答唱		拝領	
アレルヤ唱		閉祭	

7月21日 年間第16主日 マルコ6章30～34節 飼い主に見捨てられた羊たち

先週の福音のあとには洗礼者ヨハネの殉教のエピソードが記されています。そのあと、イエスはパンを増やす奇跡を行われるのですが、今日の箇所はそれに先立つ部分でプロローグであると言ってもいいでしょう。

先週は弟子たちが宣教に派遣される場面でした。彼らはその結果を残らず報告したとあるので、手ごたえのある宣教旅行だったのでしょうか。そしてイエスは彼らを休ませようと、舟で出かけることにします。食事をする暇もないくらい大勢の人々がイエスに会いに来ていたようです。まだ待っている人がいるのに休みに行くのはちょっと冷たいように思いますが、体力や気力を保つためには必要なことです。マザーテレサも休息と祈りのときを持たないと活動が続けられないと、待っている人がいても時間になれば帰ったといいます。

イエスにしても弟子にしても人間の限界がありますから、当然休む必要があります。それで人里離れたところに行こうとしたのですが、人々は先回りして待っていました。

その人々の様子は「飼い主のいない羊」のようだったということです。羊はおとなしい動物なので、飼い主＝羊飼いが羊を守ります。羊の群れをまとめ、昼は牧草地に連れて行って食事させ、夜は囲いの中で野獣や羊泥棒から守ります。羊飼いがいなければ羊は命の危険にさらされるのです。

イスラエルの人々の飼い主は本来、ユダヤ教の指導者たちでした。しかし彼らは律法の細かい規定を守ることにこだわり、貧しい人々や体の不自由な人々を無視していました。というのはそのような人々は律法を守ることができない上に、罪によってそういった報いを受けていると考えられていたからです。見捨てられた立場の人々は、まさに飼い主のいない羊でした。イエスはほかの箇所でも「迷った羊」「イスラエルの失われた羊」というように表現されています。一般社会でも悩む人々のことを「迷える羊」「迷える子羊」と表現するのは聖書の影響でしょう。米津玄師さんの歌にも「迷える羊」というのがありますが、演劇をモチーフとしている歌詞ですね。ちなみにわたしは最初彼のことをお坊さんか宗教者だと思っていました。「米津玄・師」なのかと。

イエスはそのような見捨てられた人々に「あなたがたは地の塩、世の光である」「貧しい人は幸いである」と告げられたので、人々は「これはわたしたちへの教えだ」と喜んだのではないのでしょうか。

イエスのみことばを受け入れるためには、深い信仰が必要だと思ってしまいます。しかし、イエスは打ちひしがれている人々の思いに答えて神のみことばを告げられました。先回りしてイエスを待っていたことこそが信仰のしるしだったといえるでしょう。ここに神の国のありようが表れています。神の国の福音はそのような人々に真っ先に告げられたのです。わたしたちも飼い主イエスの声を貧しい人々とともに聞きましょう。

(柳本神父)